

Onward

The Next 130 Years

商船三井は2014年度に創業130周年を迎えました。この年にスタートした中期経営計画「STEER FOR 2020」のもと、事業ポートフォリオ、事業モデル、事業領域の変革を通じ、次の130年に向けた歩みを進めています。

商船三井グループ企業理念

顧客のニーズと時代の要請を先取りする総合輸送グループとして世界経済の発展に貢献します

社会規範と企業倫理に則った、透明性の高い経営を行ない、知的創造と効率性を徹底的に追求し企業価値を高めることを目指します

安全運航を徹底し、海洋・地球環境の保全に努めます

今回のレポートの構造と内容

Past 130 years

130年間蓄積してきた企業文化
「挑戦と革新」

巻頭特集

海運業の社会的意義と
MOLの価値創造

P.3

商船三井 at a Glance

製造資本と
マーケットポジション P.34

セグメント別事業概況 P.40

Onward “未来へ”

会長・社長メッセージ
戦略と方向性

P.16

CFO
インタビュー

P.32

特集2：
LNG船船員の育成
人的資本

P.52

Next 130 years

次の130年

次の130年の成長を
支える経営基盤
知的資本・社会資本・
環境資本

P.57

財務セクションほか
財務資本

P.75

目次

価値創造

巻頭特集：海運業の社会的意義とMOLの価値創造	3
-------------------------	---

経営戦略

会長メッセージ	16
社長メッセージ	22
財務ハイライト	28
主要指標	30
CFO インタビュー	32

製造資本

商船三井 at a Glance	34
マーケットポジション	38
セグメント別事業概況	40

人的資本

特集2：LNG 船船員の育成	52
安全運航	55

知的資本・社会資本・環境資本

商船三井の経営基盤	57
取締役、監査役、執行役員	58
社外役員対談	60
コーポレート・ガバナンス	64
リスク管理	68
企業の社会的責任(CSR)	70
用語集	74

財務資本

財務セクション	75
商船三井グループ	82
国内・海外事業所	84
株主情報	85

編集方針

今回のアニュアルレポートでは、海運業の特性や社会的意義、当社の目指す価値創造をご理解いただくための巻頭特集及び、中期経営計画「STEER FOR 2020」完遂に向けての課題の一つである「LNG 船船員の育成」についての特集を組んでいます。また、長期的な当社の価値創造をご説明するため国際統合報告フレームワークも参考にしながら、次の130年に向けて前進する当社の戦略を深くご理解いただけるよう努めました。

商船三井のコミュニケーションツール

当社では、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを促進するためのツールとして、以下の冊子を発行しています。最新版は当社ホームページよりご覧いただけます。

▶ <http://www.mol.co.jp/ir-j/> アニュアルレポート
インベスターガイドブック
マーケット・データ

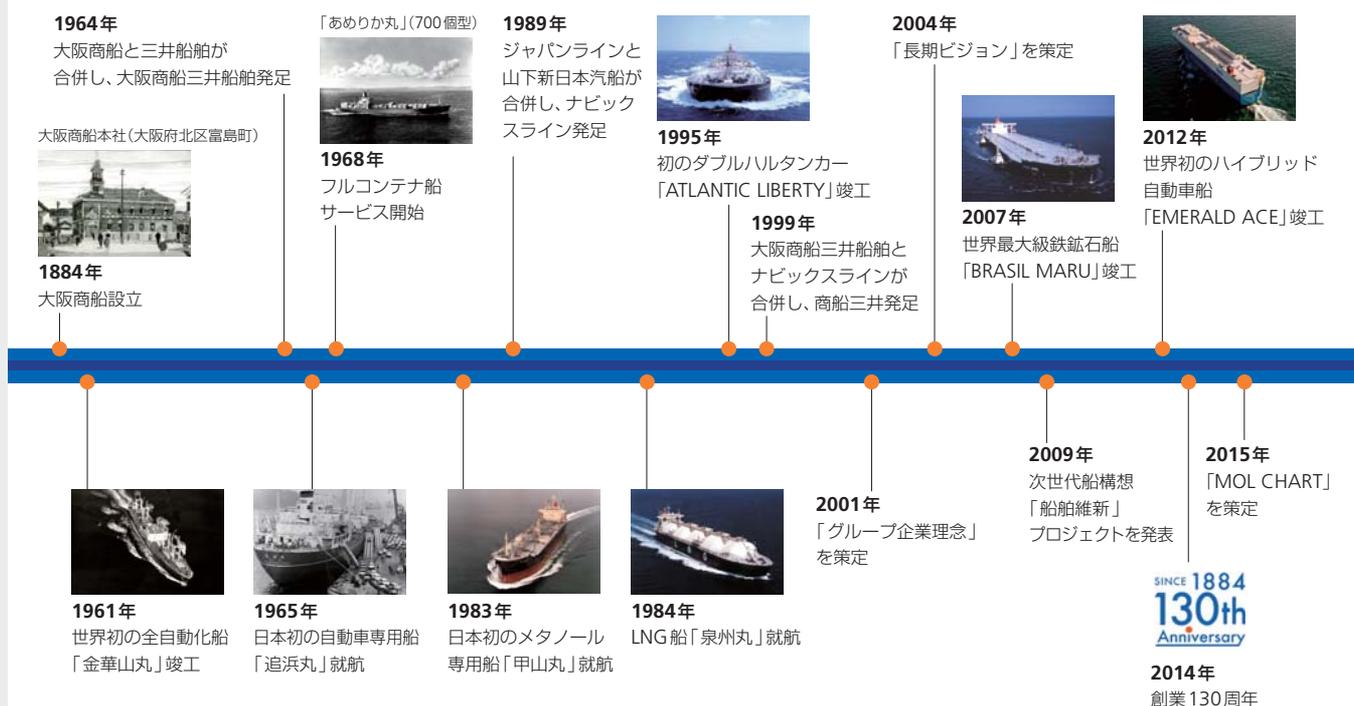
▶ <http://www.mol.co.jp/csr-j/> 安全・環境・社会報告書

見直しに関する注意事項

このアニュアルレポートには、商船三井の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見直しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点^(*)で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また経済動向、海運業界における激しい競争、市場需要、燃料価格、為替レート、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでいます。このため実際の業績は当社の見込みとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

(*)特にことわりがない限り2015年6月23日時点。

MOL 130年：挑戦と変革の歴史



商船三井は130年以上の長きにわたって航海を続けてきました。その間、時代の要請と顧客のニーズを先取りし、時に様々な困難を克服しながら、世界最大級の総合海運企業に成長してきました。それを支えてきたものは「挑戦と変革」の精神であり、得たものは顧客をはじめとするステークホルダーからの「信頼」です。これら何物にも代えがたい財産を活かしながら、中期経営計画に掲げる「変革を通じた確かな成長」を実現し、次の130年に向けて前進していきます。

長期ビジョン

世界の海運をリードする強くしなやかな商船三井グループを目指す

MOL CHARTとは

商船三井グループ全役職員の日々の業務遂行、判断にあたって拠り所となる価値観・強み、あるべき姿を示したものです。MOL CHARTに沿った行動、判断をすることにより、当社の企業理念、長期ビジョンの達成に繋がるものと考えます。

C

hallenge

大局観をもって、未来を創造します

H

onesty

正道を歩みます

A

ccountability

「自律自責」で物事に取り組みます

R

eliability

お客様の信頼に応えます

T

eamwork

強い組織を作ります

